



木野東小学校での食育授業

大きな
カボチャに興奮！



11月15日に木野東小学校の3年生(3クラス)を対象に、今年度2回目の青年部による『おとぶけ給食』と連携した食育授業が行われました。この日は木野産のカボチャを使用したスープが給食メニューの一つとなっており、部員は用意したカボチャの実や種を使い、栽培方法や苦勞する点等を説明しました。

中でもハロウィン用の大きなカボチャを見た児童たちは大興奮で、「でっかくて重たそう!」「持ってみ

たい!」と大喜びでした。カボチャに関するクイズも楽しんでもらえたようで、元気に手を挙げて答えてくれました。

一緒に給食を食べている間も質問攻めに合い、関根拓治青年部長は「子供たちならではの発想で、思いもよらない質問が飛んでくる。自分たちにとっても農業というものを見つめなおす良い機会になった。」と語っていました。



『おとふけ給食』と連携した食育授業



7月26日に木野東小学校の6年生(4クラス)を対象に、木野農協青年部による食育授業が行われました。

この日は木野産のブロッコリーを使用したグラタンが給食メニューの一つとなっており、青年部員がブロッコリーのDVD視聴を交えながら、栽培方法や苦勞する点等を話し、種や生育中の実物を見せたり、クイズに答えてもらい、地場産野菜に対する興味を持ってもらえるように工夫を凝らした授業を行っていました。

部員は児童たちに大人気で、一緒に給食を食べている間も、作物や農業に関することについてたくさんの質問が飛び交っていました。

6/6 緑陽台小学校での1枚。



食育授業の一環として、青年部と児童による野菜の植え付け作業が行われました。今年は1・2年生と一緒に花壇を整理し、サツマイモ・スイートコーン・枝豆を植え、6年生と馬鈴薯・人参、ハウスにはキュウリ・ピーマン・ミニトマトの苗を植え、とても楽しそうでした。